

科 目	社会と情報 (1年)	単 位 数	2 単位	年 間 授 業 時 間	7 0 時 間
	対 象 学 年 ・ (組)	1年 (1～6組)	使用教科書(出版社)	高校社会と情報 (実教出版)	
	必 修	副 教 材 等	高校社会と情報 新訂版 学習ノート		

教 科 担 当 者

指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	
4月	ワープロソフトの活用	・コンピュータの基本操作(起動と終了)を行うことができる。 ・キーポジションを理解し、文字を正しく打てるようになる。	ワープロソフトの活用	・アプリケーションソフト(ワープロソフト・描画ソフト)を使って作品の制作を行うことができる。	ワープロソフトの活用	・アプリケーションソフト(ワープロソフト・描画ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフト)を使って作品の作成を行うことができる。
			描画ソフトの活用		描画ソフトの活用	
			表計算ソフトの活用		表計算ソフトの活用	
			プレゼンテーションソフトの活用		プレゼンテーションソフトの活用	
5月	ワープロソフトの活用	・アプリケーションソフト(ワープロソフト)の基本的な操作を行うことができる。 ・パソコンやその周辺機器の名前と使い方について理解する。	ワープロソフトの活用	・アプリケーションソフト(表計算ソフト・プレゼンテーションソフト)の基本的な操作及び作品の制作を行うことができる。		
			表計算ソフトの活用		ワープロソフトの活用	
			プレゼンテーションソフトの活用		描画ソフトの活用	
					表計算ソフトの活用	
6月	ワープロソフトの活用	・情報モラルとインターネットのしくみ(情報の信頼性と信憑性、情報の保護、セキュリティ)を理解する。	ワープロソフトの活用	・情報のデジタル化(文字コード、コンピュータによるアナログ情報の扱い)を理解する。	プレゼンテーションソフトの活用	・アプリケーションソフト(ワープロソフト・描画ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフト)を使って作品の作成を行うことができる。
	描画ソフトの活用	・アプリケーションソフト(ワープロソフト・描画ソフト)を使って基本的な操作を行うことができる。	描画ソフトの活用			
			表計算ソフトの活用			
			プレゼンテーションソフトの活用			
7月	ワープロソフトの活用	・データ圧縮のや暗号化と複合化の方法など、コンピューターやネットワークの仕組みを理解する。	プレゼンテーションソフトの活用	・画像のデジタル化(CG基礎講座・光・色の三原色)を理解する。		
	描画ソフトの活用					

【評価の観点・方法】

〔評価の観点〕

- ・課題を努力して制作しているか。
- ・課題を制作する際に工夫しているか。
- ・コンピューターを操作する技術を習得しているか。
- ・情報社会・情報技術を理解しているか。

〔評価方法〕

- ・定期考査(各学期期末考査):授業で制作する課題・授業態度=100:(90~60)→各学期によって異なる(予定)。